

趣旨

- ◆ まち・ひと・しごと創生基本方針2019が6月に閣議決定され、第2期（令和2年度～令和6年度）総合戦略の主な方向性が示された。
- ◆ 令和元年12月20日に閣議決定された国の総合戦略を踏まえ、現行戦略から切れ目なく人口ビジョン及び総合戦略を遂行するために改定を行った。

根拠法令等

- まち・ひと・しごと創生法
- 地域再生法

1. 人口ビジョン

人口の将来見込み（推計）における課題

◆ 将来的には、人口が大幅に減少

現状の人口動態が今後も続いた場合、国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所の調査をもとに推計すると2040年には人口36,720人、2065年には25,905人まで減少する。

2015年：48,167人
⇒ 2065年：25,905人（48.2%減）

◆ 高齢化の急速な進行

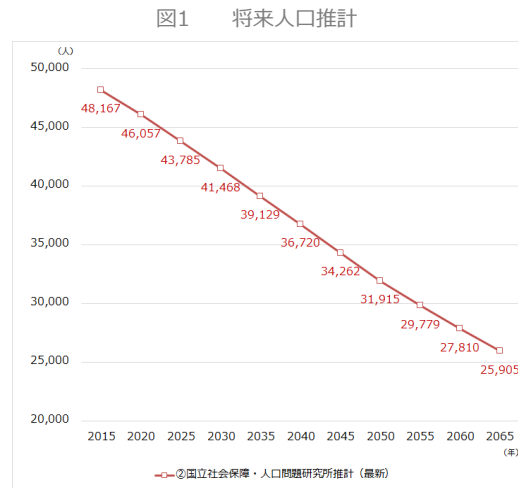
65歳以上の老年人口は2025年（16,383人）以降は減少するものの、総人口に占める割合は2055年（42.0%）まで上昇する。

高齢化率 2015年：30.9% ⇒ 2065年：41.2%

◆ 生産年齢人口（15歳～64歳）の減少と少子化

2065年には、生産年齢人口（15歳～64歳）は、11,906人となり、15歳未満の年少人口も、3,337人と減少する。

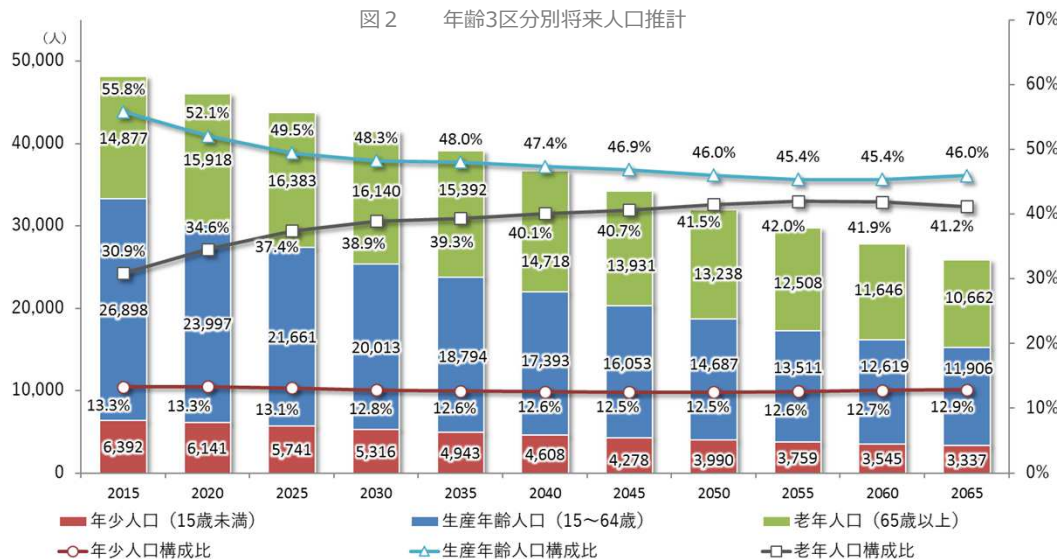
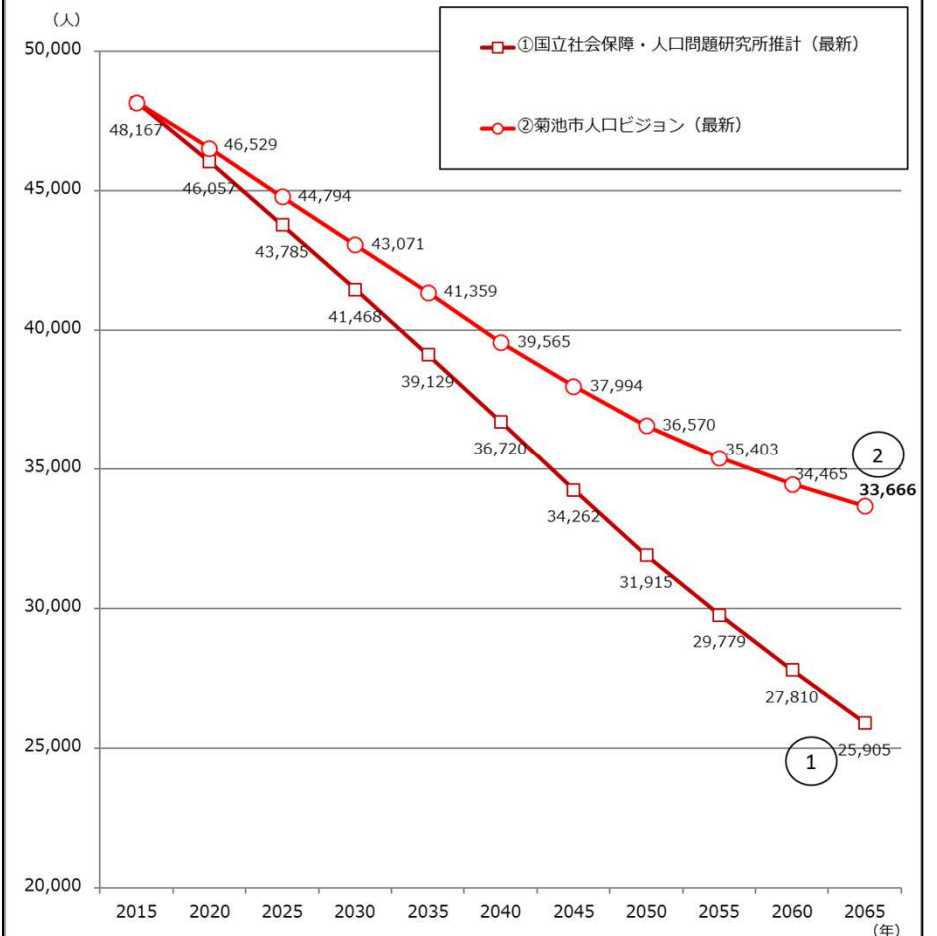
生産年齢人口（15歳～64歳）
2015年：26,898人 ⇒ 2065年：11,906人（55.7%減）
年少人口（15歳未満）
2015年：6,392人 ⇒ 2065年：3,337人（47.8%減）



目指すべき将来の方向性

- ① 合計特殊出生率を2040年までに2.10まで上昇させることを目指す
- ② 2040年を目途に社会動態±0を目指す（人口の流入促進と流出抑制）
- ③ 地域資源を活かした産業と観光を柱とした関係人口の増加を図る

長期人口ビジョン



2065年の目標人口は、**33,000人**を確保する

2. 総合戦略

目指す将来像の概略

- ・菊池の宝を「健康」で結び調和させる
- ・自然を守りながら自然を活かし穏やかな発展を目指す
- ・心身の癒しを感じる自然と文化に包まれた暮らしを創り上げる
- ・市民一人ひとりがふるさとに誇りと絆と生きがいを感じる

目指すゴール

『癒しの里きくち』の実現

期間

令和2年度から
令和6年度まで
の**5年間**

基本目標1 菊池の宝を発信し、ひとが繋ぐ“交流のまち”へ

～菊池ファンを増やす取り組みなどにより、関係人口を増やします～

【数値目標】観光客入込客数：対前年比6%増を目指す

施策	主な取り組み
ア. 菊池の魅力発信と「菊池ファン」の創出・拡大	① 菊池一族ゆかりの広域自治体連携の拡大 ② 全国のきくちさんや歴史ファン等、潜在的固定客の確保 ③ ふるさと納税の促進などにつながる情報発信の強化
イ. 観光誘客の更なる強化	① 豊かな自然資源環境や歴史文化を活かした観光客誘致活動の実施 ② 「健康」をテーマとした体験型旅行商品の充実 ③ 菊池産食材を使った「グルメ戦略」の推進 ④ インバウンド観光客への対応強化
ウ. 戦略的な移住施策等の強化	① 移住希望者受け入れ体制の充実 ② 移住・定住につながる情報発信の強化

基本目標2 稼ぐ力の創出で“働きたいまち”へ

～地産地消・地産外商により経済の域内・域外循環の拡大を図ります～

【数値目標】新規就農者数（年間）25人 新規創業者数（年間）10人

施策	主な取り組み
ア. 未来につながる農業力の強化	① 農業の担い手育成と生産体制の強化 ② 「菊池ブランド」の戦略的展開 ③ 新たな特産品の開発と6次産業化の推進
イ. 活力を創出する商工業の振興	① 後継者の育成と創業・起業支援 ② 魅力ある就業機会の創出

基本目標3 人を大切に“一人ひとりが輝くまち”へ

～夢や希望に向けて取り組むことができる社会実現を図ります～

【数値目標】合計特殊出生率：5年後「1.90」を目指す

施策	主な取り組み
ア. 結婚・出産・子育て等トータルサポート体制の充実	① 妊娠・出産・子育てへの包括的な支援 ② 女性が働きやすい環境づくりと「ワーク・ライフ・バランス」の推進 ③ 困難を抱える子どもやDV問題等にきめ細やかに手をさしのべる社会の実現
イ. 学びを通して人が育つまちづくり	① グローバルな視点を持つ、未来のリーダー育成 ② 地域が抱える課題解決を目指して継続的に活動し、実践できる人材の育成 ③ 心の豊かさや心身の健康のための生涯を通じた学びの推進

基本目標4 安心・安全な“住みやすいまち”へ

～市民一人ひとりが、健康で共に助け合い支えあう安心・安全の社会実現を目指します～

【数値目標】幸福だと思ふ市民の割合 77.3%を5年後“上昇”を目指す
住み続けたいと思ふ市民の割合 80.1%を5年後“上昇”を目指す

施策	主な取り組み
ア. 新しい時代にあつた安心・安全なまちづくり	① 地域ぐるみで助け合う防災・減災の体制強化 ② Society5.0の実現に向けた技術を活用した地域課題の克服 ③ 誰もが活躍できるダイバーシティの実現
イ. 人生100年時代に向けた健康長寿のまちづくり	① 住み慣れた地域で暮らすことができる環境の整備 ② 市民が主体的に健康づくりに取り組む支援の充実